

19 日本平公園基本計画改定の方向性は？

【答弁】都市局長

計画の見直しは、久能山東照宮の国宝指定や三保松原の世界遺産登録など、周辺の重要な変化に対応するため行われる。この計画は、サステナブル・ツーリズムの拠点としての機能強化、交通渋滞対策、周辺施設との連携強化、新しい魅力的な施設の設置、及び原風景である茶畑の保全を目指していく。令和6年度には多様な分野の専門家による委員会を立ち上げ、計画改定を進める予定。

6

持続可能なまちづくり(DX・GX・SDGs)

21 交通DX(注7)、とりわけ自動運転の実用化にむけた取組は？

【答弁】都市局長

乗務員不足対策として、デジタル技術による自動運転の導入が注目されています。今年度はGW期間に駿府城公園でレベル2の自動運転実験を開始。令和6年度には清水港でレベル2の実証実験を2つ計画しており、一つは江尻と日の出地区間の輸送、もう一つは日の出地区での観光向け小型モビリティの実証。

(注7) デジタルトランスフォーメーション：デジタル技術を使い、市民サービス向上と業務効率化による社会変革を指す。



23 住み続けられるオクシズ(注9)の取組は？

【答弁】農林水産統括監

第4次総合計画および地域おこし計画の一環として、オクシズでは日常生活支援の「オクシズ買い物広場」と移動保健室の実施、黄金の湯の改修による交流活性化、そして人材と地域の仕事をマッチングする組合設立準備を進めている。これらの取組を通じて、持続可能な発展を目指す。

(注9) 静岡市の中山間地の総称。「奥静岡エリア」の愛称。



20 静岡市中央卸売市場の将来は？

【答弁】経済局長

昭和51年開設の市場は、48年間で建物や設備の老朽化が進み、現代の要請に応えられず、取扱高もピーク時の約68%減少している。持続可能な経営には、出荷者や小売事業者との協力による取扱数量の回復と、選ばれる市場へと成長するためのソフトとハードの双方での将来構想の策定が必要。

22 環境問題と経済成長の両立を目指す本市のGX(注8)の取組は？

【答弁】副市長

本市はカーボンニュートラル達成を目指し、企業の脱炭素経営転換を支援している。意識醸成セミナーや省エネ・再エネ導入の伴走型支援を提供し、具体事例を紹介して企業の取り組みを促進。静岡商工会議所と連携し、中小企業の支援を通じて環境保護と経済成長の両立を目指す。

(注8) 再生可能エネルギーへの転換と産業構造の変革を通じ、環境保全と経済成長を両立させる取組。

24 家庭ごみ減量に向けた今後の取組は？

【答弁】環境局長

市民と企業が連携し、家庭ごみ減量に向けた啓発活動を強化する。しずてつストアやセブンイレブンと協力し、実践的な活動を推進。共創による活動の輪が広がり、今後はリユースに焦点を当てた不燃・粗大ごみの処理改善に努めることで、さらなるごみ減量を目指す。



南アルプスの保全

リニア中央新幹線静岡工区を巡り、静岡県とJR東海の対立が長期化する中、県内で唯一、リニアが通過する自治体として静岡市が果たすべき役割は何でしょうか。ネイチャーポジティブという言葉があります。2030年までに生物多様性の損失を止め、回復させることを目指す概念ですが、南アルプスの水生生物や天空の花畑の保全に向けて、環境影響評価法の趣旨に則り、可能な限りベストを尽くす必要があります。



ブルートランスフォーメーション(BX)

2月17日、H3ロケット2号機の打ち上げが成功しました。その宇宙より到達が困難とも言われる未知の領域「深海」は、地球最後のフロンティアとも呼ばれております。水深200mは既に深海です。清水港は三保灯台を沖に約4km進むと一気に水深500mの斜面が水深1200mの駿河トラフまで続く、絶好のテストフィールドです。BXとは、清水港や駿河湾を重要な源泉と見なし、その資源をより効率かつ持続可能な方法で利用することで経済・環境・社会の好循環を追求するもので、時代の潮流と、地理的な利点を活かした、清水区における新時代の成長戦略です。



子どもの屋内遊び場

天候に左右されず安全に遊べる環境は、子どもの健全な成長と発達に重要な役割を果たし、保護者にとっても心地よい子育て環境を提供してくれます。私が親として屋内子どもの遊び場に最も求めるものは安全性です。例えば、遊具の安全性、事故防止のための監視体制、衛生状態などが挙げられます。また、保護者の期待と要望は多岐にわたるため、民間事業者にとってはコストと感ずることでしょう。予算補助する以上は、本市の適切な関与が重要です。



「清水と生きる」という思いを胸に、「清水を活かす」行動を市議会議員として実践します。市民の皆様と共に、より良い未来を創造しましょう。

01
令和6年
春号

自由民主党 静岡市議会議員団

市政報告

自民党静岡市議会議員団 TEL・FAX 054-252-0543
〒420-0853 静岡市葵区追手町5-1 自民党市議会議員団控室内

静岡市議会議員 堀努



ごあいさつ

令和6年能登半島地震により犠牲になられた方々に深く哀悼の意を表し、被災されました方々に心よりお見舞いを申し上げます。

今回の市政報告は、令和6年2月定例会での代表質問の概要をまとめたものです。我が会派の堀努(ほりつとむ)政務調査会長が登壇者となり、2月29日に質問戦が行われました。質問は大きく6つの項目に分かれ、「市政運営」「安全・安心なまちづくり」、「支え合いのまちづくり」、「活力あるまちづくり」、「暮らし豊かなまちづくり」、「持続可能なまちづくり」というテーマに沿って展開されました。それぞれの項目が、防災・子ども・教育・福祉・経済・環境など、多様で具体的な内容となるよう努めました。

本来は全44問の質問ですが、紙のスペースの制限により、今回は24問のみを選択して掲載しています。皆様に少しでも目を通していただき、静岡市議会に興味を持っていただけることを願っています。

さて、静岡市はアジア初となるSDGsハブ都市として、「誰一人取り残さない」という理念の実現に向けて、その一翼を担い、4次総に組み込み、地域レベルでの実践を通じて国際社会への責任を果たすことで「世界に輝く静岡」の実現を目指そうとしてきました。

しかし、昨年9月、国連SDGsサミットでSDGsの達成は「危機的」と宣言されました。これは、2015年のSDGs策定時には想定されていなかった。新型コロナウイルス感染症や、ロシアのウクライナ侵攻、パレスチナ・イスラエル戦争など、深刻な問題に世界が直面しているからです。令和の時代はVUCA(注1)に特徴づけられ、予測が困難な状況です。このような時代には、新しい技術や思考法を持つリーダーが必要です。

一方で、永い歴史を俯瞰すると、時代を超えた普遍的な価値観があるはずです。例えば、相手への敬意、誠実さ、信頼、協力、などが挙げられますが、これらが人間関係を築く基盤となり、個人や組織が長期的な成功を収めるための鍵となります。

我が会派一同は、歴代の首長がその時代ごとに果たしてきた役割に敬意を払い、新たな市長に対して誠実に向き合い、市民の皆さんに信頼される政治に努め、そして皆さんと協力してより良い未来を築き上げていくことを、ここに宣言いたします。

(注1)「Volatility(変動性)」、「Uncertainty(不確実性)」、「Complexity(複雑性)」、「Ambiguity(曖昧性)」の4つの英単語の頭文字を取って作られた造語。



静岡市役所本館(議会棟)

昭和9年に建築され、象牙色のタイルを基調にテラコッタを多用した外壁と、モザイクタイル貼りのドームを持った塔が印象的な建造物です。国の登録有形文化財にも指定されています。